

開かれた議会に向けて

九州住民ネットワーク、 福岡市保育団体連絡会、
福岡・住環境を守る会 (092-738-5256、石井)

「開かれた議会」の請願審査(2013年8/2)は、議事運営委員会で提出後8カ月経って開かれました。請願は11項目あり、傍聴席は15席と5席増え、決算・予算委員会の放映の実施も決まり、配布資料の持ち帰りは承認され、本会議で議題が分かる資料配布もされるようになりました。議事録の一日も早い公表と、議会開催をより早くより広範な市民に知らせるという2点は全会派賛成でした。

そこで残り5項目についての各会派の姿勢を分かり易く表示するために、請願の趣旨に賛成は◎ 反対は× 検討中は▲ で表示しました。この表示は傍聴をした皆さんの傍聴結果を元に、各会派の委員の皆さんに確認の上まとめました。

	自民	公明	民主	みらい	共産	社民	維新
1、採決は傍聴者の前で行う	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2、録音を許可する	×	×	×	▲	◎	◎	◎
3、議事録に発言者の議員名記入	×	▲	◎	▲	◎	◎	◎
4、議事録に議員別採決結果記入	×	◎	◎	▲	◎	◎	◎
5、開かれた議会に向け、市民も参加する協議会の設置	×	▲	▲	×	◎	◎	▲

審議の結果「継続審議」となりました。過去、継続審議は「棚上げ」が多く危惧しています。「棚上げ」や「総論賛成、各論反対」では困ります。「全会派一致」を理由に改善の先送りは困ります。「見える議会」と言いながら、採決になると市民を追い出す。発言や採決の記録は名前を伏せるでは、とても「見える議会」とは言えません。明治の残滓を引きずる全国の政令市でも福岡だけという情けない議会運営は即刻改善すべきです。「開かれた議会」への前進は、「開かれた市政」への一歩となります。

